



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより(NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第36号
令和2年9月7日
主任社会教育主事
久万桜・駄場友和

中部管内の小学校の取組

田んぼの生きもの調査!

～四万十町立七里小学校～



調査の仕方について、子どもたちは真剣に聞いています。



7月16日に七里小の2・3年生が、農と生きもの研究所所長の谷川徹さんを講師に迎え、「田んぼの生きもの調査」を行いました。

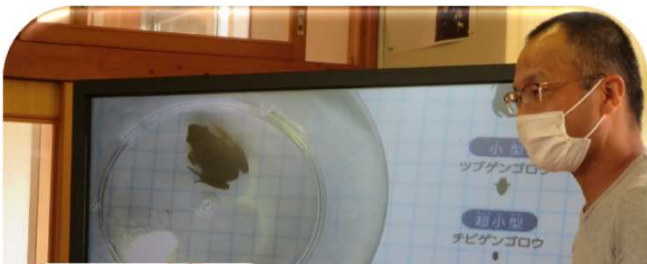


畦から稲の根元をじーっと見ていた子どもたちも、一人が田んぼに入ると、次々と入って、生きもの探しに夢中。



同じ種類のように見えても、大きさや色によって名前や住処とする場所も違うんだよ。

この日の調査で見つけたのは、ヌマガエル、ミズカマキリ、ヒメアメンボ、ハイロゲンゴロウなどでした。



教室に戻り、図鑑やルーペ、顕微鏡などを使って生きものを観察し、名前を調べます。

「もっと調べてみたい。」
「小さい生きものも大事なんだね。」

学習の終盤で谷川さんは、田んぼについて知ること、自分たちの暮らしとどう関わりがあるのか、田んぼではお米を作るだけでなく、生きものの生態系を作る役割があることを覚えてほしいと話し、田んぼの生きもの調査は終わった。

地域学校協働活動の取組

地域学校協働活動とは、地域と学校とが連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動のこと。



～四万十町立仁井田小学校～
6月30日(火)仁井田小学校にうかがうと、体育館で低学年の子どもたちが地域の方々と一緒に七夕かざりを作っていました。折り紙でくさりや提灯を作ったり、短冊に願い事を書いたり、年中行事の楽しみ方を教えてもらっていました。また、わらを編んで作った馬は、地域で受け継がれてきた伝統的な七夕かざりで、子どもたちも興味津々の様子でした。



願い事には、勉強や運動の他にも、コロナの終息などが書かれていました。



令和2年度中央地区文化財保護連絡協議会総会 第1回文化財保護担当者等研修会

中央地区の文化財保護連絡協議会の会員が一堂に会し、文化財の保護伝承等の研修を行い、地域での文化財愛護思想の高揚に努めることを目的として活動を行っています。

6月18日の町紙の博物館において令和2年度中央地区文化財保護連絡協議会総会第1回文化財保護担当者等研修会が開催され、8つの市町村より37名の参加がありました。研修会では、紙漉き体験と展示見学を行いました。参加者一人一人オリジナルの葉書を作りました。出来上がりは乾燥後発送されます。絵手紙にしようかなど、みなさん手元に届くのを楽しみにしていました。

*土佐和紙(土佐典具帖紙、土佐清帳紙、須崎半紙、狩山障子紙、土佐薄様雁皮紙)は、昭和55年に高知県によって保護無形文化財に指定されています。

溜め漉き

すけたを動かしながら漉きます。すけたと水の重さでなかなかの重労働です。

漉き枠(葉書)

和紙の厚さが均一になるように漉くのは難しいなあ。

水切り

乾燥

出来上がり

地域の活動情報をお知らせください!

中部教育事務所では、生涯を通じて学ぶ喜びに満ちた「教育的風土づくり」を進めるために各市町村の教育委員会やPTA・社会教育諸団体と連携を図りながら、支援助言を行っています。

また、情報収集に努め、社会教育に役立つ情報を発信していきたいと思っておりますので、地域の活動等情報がありましたらお知らせください。

連絡先: 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所 TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167

E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp 担当: 駄場 友和 久万 桜

